

瓦屋根耐風診断 二次調査票

対象	項目	記入欄
調査 担当	会社名・氏名	会社名：氏名：
	所在地	
	連絡先	TEL：
	診断資格者名	
	診断者の資格	☐ 瓦屋根診断技師 ☐ 瓦屋根工事技師 ☐ かわらぶき技能師(1級・2級) ☐ 建築士 ☐ その他()
依頼者	氏名	
対象 建物	住所	
	建物の築年数	
	屋根の改修歴	☐ 無 ☐ 有 実施時期： 概要：
	建物の構造	☐ 木造 ☐ RC造 ☐ S造 ☐ 不明 ☐ 平屋 ☐ 2階建て ☐ 3階建て 屋根勾配 寸
	瓦の種類	☐ J型 ☐ F型 ☐ S型 ☐ PC瓦 ☐ その他() ☐ 防災瓦 ☐ 非防災瓦
	構法	☐ 引掛け桟 ☐ 土葺き ☐ 接着補強 ☐ その他() ☐ 不明
平部	桟瓦の 留め付け	☐ 全数 ☐ 千鳥連結 ☐ ()枚おきに留め付け ☐ 無繋結 ☐ その他() ☐ 不明 ☐ くぎ ☐ ねじ ☐ 繋結線 ☐ その他() ☐ 不明
	劣化・損傷等の 状況	☐ 劣化等なし ☐ 劣化等あり ☐ 不明 部位： ☐ 瓦 ☐ 接合部 ☐ 瓦浅木 ☐ 下葺き材(種類) 状況： ☐ 割れ ☐ 浮き ☐ ズレ ☐ 飛散・脱落 ☐ 損傷 ☐ 不明 ☐ その他()
	軒部	☐ 全数3点繋結 尻部： ☐ くぎ ☐ ねじ ☐ 繋結線 補強： ☐ パッキン付ねじ ☐ 7型くぎ ☐ 繋結線 ☐ 全数補強なし ☐ 補強なし ☐ 不明
軒部	劣化・損傷等の 状況	☐ 劣化等なし ☐ 劣化等あり ☐ 不明 状況： ☐ 割れ ☐ 浮き ☐ ズレ ☐ 飛散・脱落 ☐ 損傷 ☐ 不明
	けらば 部	☐ 全数3点繋結 尻部： ☐ くぎ ☐ ねじ ☐ 繋結線 補強： ☐ パッキン付ねじ ☐ 繋結線 ☐ 全数補強なし ☐ 補強なし ☐ 不明

けらば部	劣化・損傷等の状況	☐ 劣化等なし 状況： ☐ 割れ ☐ 損傷	☐ 劣化等あり ☐ 浮き ☐ その他	☐ 不明 ☐ 飛散・脱落
棟部	棟の種類・状態	☐ 冠瓦伏せ棟 冠瓦の固定 ☐ 全数留め付け ☐ () 枚おきに留め付け ☐ なし ☐ ねじ ☐ くぎ ☐ 緊結線 ☐ 不明		
		☐ のし瓦積み棟 大棟()段 隅棟()段 下り棟()棟 冠瓦の固定 ☐ ねじ等 ☐ トンボ(棟芯あり) ☐ トンボ(棟芯なし) ☐ 大回し等 ☐ なし ☐ 不明 のし瓦の固定 ☐ 緊結線(相互緊結) ☐ なし ☐ 不明		
	劣化状況	☐ 劣化等なし ☐ 劣化等あり ☐ 不明 状況： ☐ 浮き・ズレ ☐ 脱落 ☐ 損傷 ☐ 緊結材の切れ・浮き ☐ しっくい劣化 ☐ その他()		
谷部	谷部の状態	☐ 劣化等なし ☐ 劣化等あり ☐ 不明 状況： ☐ 瓦の浮き・ズレ ☐ 脱落 ☐ 板金の孔開き ☐ その他()		
改修が必要な部位		☐ 平部 ☐ 軒部 ☐ けらば部 ☐ 棟部 ☐ 谷部 ☐ その他()		
診断結果		☐ 強風により脱落・飛散する恐れが低い。 (上記「改修が必要な部位」がない。)		
		☐ 耐風性を確保するためには改修の実施が望ましい。 (上記「改修が必要な部位」が1つ以上ある。)		
所見・要望事項				

※下線は昭和 46 年建告第 109 号の規定に対応する仕様を示す。

※著しく損傷・劣化等している場合は、その状況や位置が分かるように写真を撮影し、屋根伏図又は空撮写真にその位置と写真番号を示す。

☐ 屋根写真 ☐ 空撮写真		
改修が必要な部位		改修案
☐ 1 階 ☐ 2 階 ☐ 3 階	☐ 平部 ☐ 軒部 ☐ けらば部 ☐ 棟部(棟) ☐ 谷部 ☐ その他()	
☐ 1 階 ☐ 2 階 ☐ 3 階	☐ 平部 ☐ 軒部 ☐ けらば部 ☐ 棟部(棟) ☐ 谷部 ☐ その他()	
☐ 1 階 ☐ 2 階 ☐ 3 階	☐ 平部 ☐ 軒部 ☐ けらば部 ☐ 棟部(棟) ☐ 谷部 ☐ その他()	
☐ 1 階 ☐ 2 階 ☐ 3 階	☐ 平部 ☐ 軒部 ☐ けらば部 ☐ 棟部(棟) ☐ 谷部 ☐ その他()	
☐ 1 階 ☐ 2 階 ☐ 3 階	☐ 平部 ☐ 軒部 ☐ けらば部 ☐ 棟部(棟) ☐ 谷部 ☐ その他()	
☐ 1 階 ☐ 2 階 ☐ 3 階	☐ 平部 ☐ 軒部 ☐ けらば部 ☐ 棟部(棟) ☐ 谷部 ☐ その他()	
☐ 1 階 ☐ 2 階 ☐ 3 階	☐ 平部 ☐ 軒部 ☐ けらば部 ☐ 棟部(棟) ☐ 谷部 ☐ その他()	